

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム
平成 26 年度第 1 回コンソーシアム会議（全体会議）議事録

日 時 2014 年 5 月 7 日（水） 15 時 05 分～17 時 00 分
場 所 東京理科大学森戸記念館 2 階第 2 会議室（東京都新宿区神楽坂 4-2-2）
出 席（敬称略）
代 表： 有信睦弘
副 代 表： 松瀬貢規、依田照彦
部会主査： 廣瀬壮一（部会 1）、西方正司（部会 2）、松村暢彦（部会 3）
幹 事： 渥美純一（日本技術士会）、石村和男（日本技術者教育認定機構）、
村松俊樹（日本工学会コンソーシアム担当理事）
委 員： 岡田 章（日本建築学会）
オブザーバー： 大橋一民（経済産業省）、大槻 肇（科学技術振興機構）
事 務 局： 木暮賢司

欠 席（敬称略）
部会主査： 松井幹彦（部会 4）
幹 事： 佐藤 勲（日本機械学会）、青島泰之（日本技術者教育認定機構）、
玖野峰也（日本工学アカデミー）
委 員： 高橋章浩（土木学会）、井端一雄（計測自動制御学会）、
柚原義久（工学アカデミー）、塩見誠規（塑性加工学会）、
井上裕嗣（日本非破壊検査協会）
オブザーバー： 小森和弘（経済産業省）、野口宏一（国土交通省）

配布資料：

- 000 日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム会議 議題表
- 001 前回コンソーシアム会議（平成 26 年 1 月 24 日）議事録
- 002 日本工学会 平成 25 年度事業報告、平成 25 年度決算
日本工学会 平成 26 年度事業計画、平成 26 年度予算書
- 003 部会活動計画
部会 1（情報共有）
部会 2（教育支援）
部会 3（教材開発支援）
- 004 第 5 回科学技術人材育成シンポジウム 開催結果報告
- 005 科学技術人材育成コンソーシアム構成表（会員および委員・幹事等名簿）
- 006 日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム規定（参考資料）

議事概要

1. 前回（1/24）コンソーシアム会議議事録確認

資料 001 に基づき、前回会議議事録を確認した。

2. 日本工学会 平成 25 年度事業報告、決算書および平成 26 年度事業計画、予算書

有信代表より資料 002 の平成 25 年度事業報告、平成 25 年度決算について説明があった。なお、本件はメール審議により了承済である。また、平成 26 年度事業計画、平成 26 年度予算書について

報告された。これらは日本工学会の承認を得ているとの補足説明があった。

3. 第5回科学技術人材育成シンポジウム 開催結果報告

部会1 廣瀬主査ならび有信代表より資料004に基づき、シンポジウムの開催結果が報告された。

4. 部会活動計画

資料003に基づき、部会1 廣瀬主査、部会2 西方主査、部会3 松村主査より、それぞれ平成26年度の活動計画が報告され、意見交換を行なった。各部会からの計画の概要は以下の通り。

[部会1 (情報共有)]

- ・ 学協会に情報提供の依頼を早急に行なうとともに、関連学協会のWebサイトにリンクをはるなどして、Webの掲載内容の充実を図る。
- ・ 情報の収集・掲載に関して、継続的かつ効率的な運営体制の構築を検討する。

[部会2 (教育支援)]

・ 8月の電気学会産業応用部門大会において開催されるパネルディスカッション「教育現場の求める理科教育支援とは？ -初等中等教育への支援のあり方-」を実施して、教育支援の効果的な方策等について討論する。パネラーとして小学校の現場教員と管理運営にあたっている教員などを予定している。

[部会3 (教材開発支援)]

- ・ 教材・教育プログラムの一覧表を作成し、ホームページなどを利用して発信する。
- ・ 次回のシンポジウムも視野に入れつつ、教材を活用した優良事例の収集を行ない、これらを総合してベストプラクティスを明らかにする。

5. 部会4主査

出席が困難な現主査に代わり、佐藤勲幹事に就任していただくよう要請することとした。

6. その他

- (1) 資料005の科学技術人材育成コンソーシアム構成表を確認した。
- (2) 広報活動の一環として、コンソーシアムの案内を5月の日本工学会総会ならびに8月に開催される電気学会産業応用部門大会におけるパネルディスカッションにおいて配布することとした。
- (3) 次回開催について
幹事会を7月あるいは8月に開催する。

以上